

白山社会学会ニュースレター

発行/白山社会学会 <http://www.geocities.co.jp/CollegeLife/6234> 事務局/〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 東洋大学社会学部交付郵便番号「00160-8-134254 白山社会学会」年会費5000円・学生会費3000円・入会費なし・寄付金歓迎

第20回 白山社会学会大会 開催予定

日時：未定（土）
会場：未定（白山）

第19回白山社会学会大会開催

白山社会学会第19回研究大会は、2001年12月22日（土）白山校舎1号館2階16階スカイ・ホールを会場に、10:00より開催された。

午前の一部

<自由報告> 10:00 - 12:00

1. 伊達 康博（社会学研究科 博士後期課程1年）
「情報社会学におけるベル理論の再検討」
2. 藤山 新（社会学研究科 博士後期課程1年）
「性同一性障害を通して“男女の平等”を考える」
3. 伊藤 正子（社会学研究科 博士後期課程3年）
「異文化間社会福祉援助類型化の試み」
4. 丸山 晃（鈴鹿国際大学短期大学部）
「障害者の地域自立に向けた課題と展望」

<地会> 12:00 - 13:00

<昼食> 13:00 - 14:00

午後の一部

<シンポジウム> 14:00 - 17:30

主催：白山社会学会・東洋大学大学院社会学研究科福祉社会システム専攻

*テーマ

「福祉社会システム専攻の改革構想—リカレント型大学院のさらなる発展を求めて—」

*シンポジスト

「福祉社会システム専攻の立場から」大友信勝（東洋大学）

「白山社会学会の立場から」 清水浩昭（日本大学）

「二季の会の立場から」 山中達也（川崎市リハビリテーション医療センター）

「白山社会学会の立場から」 清水浩昭（日本大学）

*コメンテーター

「社会学研究科委員会の立場から」小林幸一郎（東洋大学大学院社会学研究科委員長）

「白山社会学会の立場から」 米林喜男（順天堂大学）

「二季の会の立場から」 中川知子（聖セシリア女子短期大学）

*総会司会

大坪省三（福祉社会システム専攻主任）

※シンポジウムの内容は『白山社会学研究』第10号に掲載。

<懇親会> 18:30 - 20:00 同会場にて

総会報告

2001年12月22日の大会時に第19回白山社会学会総会が開催された。

高橋直之会長の挨拶の後、市川藤雄氏が議長に選出された。

新会長に園田恭一会員が選出された。

【黙祷】2001年6月に逝かれた渡辺博史会員、2001年11月に交通事故で逝かれた芳賀正明会員に対し黙祷。

【活動経過報告】2000年12月～2001年11月

①3月3日、第3回児童館・学童保育関連卒業論文等発表会開催、②3月3日、第7回関東地区社会学・社会福祉学修士論文等発表会開催、③3月7日『白山社会学研究』第9号発行、④4月28日運営委員会、⑤6月4日『白山社会学会ニュースレター』第22号発行。

【会計報告】会員の方は同封別紙をご参照下さい。

【活動計画】

①第4回児童館・学童保育関連卒業論文等発表会開催、②第8回 関東地区社会学・社会福祉学修士論文発表会開催、③『白山社会学研究』第9号発行・第10号編集、など。

【役員人事】

<新任>

会長：園田恭一、副会長：船津衛、査読委員：旭洋一郎、大坪省三、小林幸一郎、酒井俊二、米林喜男、高里勇進

<辞退>
運営委員・企画：細井洋子、会計：川池智子、監事：園田恭一（会長に選出のため）、顧問：竹内郁郎、事務局：寺田貴美代

【その他】

第8回関東地区 社会学・社会福祉学 修士論文等 発表会 の開催

2002年3月2日（土）、10:00より第8回関東地区社会学・社会福祉学修士論文発表会が白山、雨水会館2階で開催された。発表者と発表題目は以下の通り。

<プログラム>

第1セッション 10:00～

司会：稲沢公一（東洋大学社会学部助教授）

1. 亀井芳子（東洋大学大学院・社会学研究科 福祉社会システム専攻）
「移動困難を抱える高齢者・障害者への移動支援ー東京都23区の移送サービス団体の調査からー」
2. 本本明（大正大学大学院・文学研究科 社会福祉学専攻）
「現行生活保護制度とその運用をめぐる問題点と改善の方向について」
3. 長竹教夫（東洋大学大学院・社会学研究科 福祉社会システム専攻）
「精神病院における受診援助に関する研究」
4. 大山勉（東京都立大学大学院・社会学研究科 社会福祉学専攻）
「精神障害者の就労定着に関する研究ー“保護就労”の利用実態からみた就労定着に影響を与える要因についてー」
5. 松原多穂子（日本女子大学大学院・人間社会研究科 社会福祉学専攻）
「グループの必要性とその課題」
6. 中野宏美（東洋大学大学院・社会学研究科 社会福祉学専攻）
「介護労働におけるジェンダー課題に関する研究ー生活クラブ福祉ワーカーズ・コレクティブの活動に見出される介護労働の検討を通してー」

第2セッション 14:00～

司会：松本誠一（東洋大学社会学部教授）

1. 小川道喜子（東洋大学大学院・社会学研究科 社会学専攻）
「E・H・カーリーの社会的自己論ーその再評価」
2. 原田健一（東洋大学大学院・社会学研究科 社会学専攻）
「日本における映像メディアの成立ー岡田桑三という事例を通してー」
3. 佐藤貴幸（駒澤大学大学院・人文科学研究科 社会学専攻）
「演劇における芸術性の創造的行為」
4. 上藤豪（日本大学大学院・文学研究科 社会学専攻）
「結婚から捉える日本社会の地域性」

10:00～10:10 主催団体挨拶、オリエンテーション

第I部： 学童保育関連卒業論文発表

座長： 志渡原亜美（埼玉純真女子短期大学）

1. 高橋和江（宮城教育大学教育学部）
「学童保育における障害児受け入れの現状と課題」
2. 長門由喜子（宮城学院女子大学学芸学部）
「児童に対する栄養・食教育における児童館のおやつ場の検討」
3. 種田吉美（埼玉大学教育学部）
「子どもの参画支援に関する考察ー学童保育における参与観察を通してー」

包括討議1

昼食・休憩

第II部： 児童館関連卒業論文等発表1 ー社会参画とその関連ー

座長： 深作拓郎（法政大学）

1. 庄司愛（東京都立大学人文学部）
「子どものベストインタレストと児童館活動ー川崎市の諸施策からー」
2. 上田一成（筑波大学大学院教育研究科）
「現代青少年にとっての『たまり場』の意義ー宇治市杉並 高校生運営委員のライフヒストリーを通してー」

包括討議2

第III部： 児童館関連卒業論文等発表2 ー子どもとの関わりー

座長： 春山 勝（文京区立根津児童館）

1. 傳田久美子（明治大学文学部）
「子どもの成長に関わるということーその裏側にあるものを探してー」
2. 松本 純（明治大学文学部）
「子どもたちに手を引かれて」

包括討議3

第IV部： 児童館関連卒業論文等発表3 ー児童館の新たな課題ー

座長： 植木信一（県立新潟女子短期大学）

1. 川英友（立教大学コミュニティ福祉学部）
「ADHDを持つ児童への社会的支援について」
2. 住谷直美（千葉大学教育学部）
「市民が望む児童館 ー千葉市を事例にー」

包括討議4

総括と挨拶 立柳 聡（福島県立医科大学）

岩淵泰郎先生 退職される

2001年3月をもって、前応用社会学科図書学専攻、現メディア・コミュニケーション学科で教職を執られていた、岩淵泰郎先生が退職された。

会員の近著紹介

・大塚省三編『福祉社会を創るー社会人大学生たちの挑戦』

学文社、2002年4月5日発行

本書は大坪先生の指導を受けた人たちが寄稿した論文集である。共同執筆者に、春山勝・岡多枝子・大門俊樹・佐々木百合子・服部満生子・亀井芳子・高橋克典・中川知子・松山洋子・藤井久美子・島田肇・斉藤慎一・井上光晴の各氏。

学 位

平成14年3月の学位の取得・授与は以下の通り。

<社会福祉学>

朝倉美江 博士(甲)、寺田貴美代 博士(甲)

関連団体の動向

東洋大学大学院社会学研究科福祉社会システム専攻修了生の会<三季の会>が主催して、3月21日(木)1208教室(白山校舎)で、日本社会福祉士会副会長池田恵利子氏(福祉社会システム専攻)の講演、スカイホールにて「19期修了生祝賀会および懇親会」が開催された。

この催しは、同専攻が Semester 制で、3月と9月に修了生を出すことから、「春の集い」「秋の集い」として恒例化している。

学内動向

・平成14年度社会学部新任教員

社会学科

西澤見彦

メディアコミュニケーション学科

内藤衛亮教授

社会心理学科

片山美由紀

社会福祉学科

高山直樹

鈴木麻穂実習助手

・昇格

助教授から

渡辺満久教授

島崎哲彦教授

講師から

吉川かおり助教授

・学部・大学院の平成14年度役職者

社会学部長

吉川孝順

社会学科主任

北村嘉行

第2部社会学科主任

田中 淳

社会文化システム学科主任

松本誠一

メディアコミュニケーション学科主任

戸田慎一

社会心理学科主任

久保ゆかり

社会福祉学科主任

秋元美世

第2部社会学科主任

森田明美

学長補佐

西山 茂

社会学研究科委員長

船津 衛

社会学専攻主任

末成道男

社会福祉学専攻主任

佐藤豊道

福祉社会システム専攻主任

大友信勝

・東門の面目一新

長らく工事車両の通路として使用されていた白山東門は両側に並木、中央に水が流れる階段スペースが姿を現した。道路に面した所に守衛所の建物、駐輪場(スペースが狭いので中込者の中から一部限定使用)も。階段を昇った正面に円了像が移された。歩行者通路だった部分は工事中に変わった。東門前の文京堂からは空が広く眺められる眺望となった。

事務局よりお知らせ・お願い

・『白山社会学研究』第10号発行

(文責・松本)

役員一覧

会長: 園田恭一

副会長: 山手茂・柴林喜男・船津衛

運営委員: 秋元美世・穴田義孝・天野マキ・池田正敏・

泉田渡・稲沢公一・茨木竹二・大島尚・大坪省三・大友信勝・奥田道大・酒井俊二・佐藤豊道・島崎哲彦・鈴木勁介・田中豊治・坪井健・中山伸樹・西山茂・宮良高弘

企画: 天野マキ・西山茂・柴林喜男

会計: 森田明美

監事: 清水浩昭

顧問: 岩井弘雄・酒井俊二・高橋統一・藤木 三千人・山下製炭男

『白山社会学研究』編集委員長: 大坪省三

編集委員: 川池智子(庶務)・大島尚・酒井俊二・清水浩昭・坪井健

査読委員: 旭洋一郎・天野マキ・池田正敏・稲沢公一・宇都宮京子・大坪省三・大友信勝・小林幸一郎・酒井俊二・佐藤豊道・園田恭一・高橋直之・吉川孝順・松本誠一・森田明美・山手茂・柴林喜男

事務局: 松本誠一(事務局長)・旭洋一郎(広報)・市川藤雄(広報)・上芝栄子・酒井出・坂田伸子(会計・二季の会との連絡)・城正子・立柳聡(児童館・学童保育卒論発表会)・仲俣圭(庶務)・春山勝・森田明美(総務)・山下典一郎・山下正司

修了生を出すことから、「春の会」「秋の会」として恒例化しているもの。

前日の総会で、＜二季の会＞代表世話人（第3代）として、井上光晴氏が再任された。初代は藤田博仁氏。

学内動向

・平成14年度社会学部新任教員

社会学科

原山哲教授

社会文化システム学科

山本須美子助教授

メディアコミュニケーション学科

大石泰彦教授、小林宏一教授、中村功助教授

社会福祉学科

小澤温教授、上田美香助手

・学部・大学院の平成15年度役職者

社会学部長

船津 衛

第1部社会学部

社会学科主任

大坪省三

社会文化システム学科主任

小林修一

メディアコミュニケーション学科主任

戸田慎一

社会心理学科主任

久保ゆかり

社会福祉学科主任

森田明美

第2部社会学部

社会学科主任

田中 淳

社会福祉学科主任

大友信勝

大学院社会学研究科委員長

古川孝順

社会学専攻主任

細井洋子

社会福祉学専攻主任

佐藤豊道

福祉社会システム専攻主任

片平冽彦

・東洋大学井上記念館完成

東洋大学井上記念館の完成を記念して、平成15年4月5日（土）14:00~16:00より、井上円了ホールにて下記のように学術講演会が開催される。

主催：東洋大学・東洋大学井上円了記念学術センター

講師：福川伸次氏（株式会社電通顧問・東洋大学井上円了記念学術センター運営委員）

演題：「日本のよきちから」

・5号館完成

大学院教務課、大学院共同研究室などがある5号館が完成した。

・『白山社会学研究』第11号発行

松本誠一会員が東洋大学アジア研究所からの派遣研究員として、一年間韓国での研究に従事されるため事務局長となりました。主任業務との兼務で充分にはできませんが、なんとか済さんのお力を借りて1年間役割を果たしたいと思います。

（文責・森田）

白山社会学会役員一覧（平成15年度）

会 長 古川孝順

副 会 長 船津 衛 米林喜男

運営委員 青木辰司 秋元美世 穴田義孝 池田正敏

泉田 渡 稲沢公一 茨木竹二 大島 尚

大坪省三 大友信勝 大畑裕嗣 片平冽彦

酒井俊二 酒井 出 佐藤豊道 島崎哲彦

須田木綿子 田中豊治 坪井 健 中山伸樹

西山 茂

企 画 小林修一 西山 茂 米林喜男

会 計 坂田伸子

監 事 宋成道男

顧 問 岩井弘融 奥田道大 酒井俊二 園田 恭一

高橋統一 高橋直之 藤木三千人

山下袈裟男 山手 茂

運営事務局員 森田明美（事務局長）

吉川かおり 市川藤雄（広報） 上芝栄子

春山 勝

立柳 聡（児童館・学童保育卒論等発表会）

『白山社会学研究』編集委員 大坪省三（編集委員長）

川池智子（庶務） 大島 尚 酒井俊二

清水浩昭 坪井 健

査読委員 青木辰司 旭 洋一郎 秋元美世 池田正敏

稲沢公一 宇都宮京子 大坪省三 大友信勝

片平冽彦 小林幸一郎 酒井俊二 佐藤豊道

須田木綿子 園田恭一 高橋直之 古川孝順

松本誠一 富里進勇 森田明美 山手 茂

米林喜男

事務局よりお知らせ・お願い